

令和7年 5月21日 (水)

あさひの日だまり

NO. 7

辰野町立辰野東小学校 文責 片桐

～今週末はいよいよ運動会です～

ご来校をお待ちしています

今日の午後2時間通しで5・6年生が運動会練習をしていました。組体操と旗の演技の練習をしていました。「ちょっと前に比べると見違えるようになってきているね」と練習を見ていた先生が声をかけて下さいました。「そうなんです」と返事をしながら練習の様子を見ていました。足踏みのそろわないところ、左右の動きがそろわないところなどが見

応援合戦 赤



応援合戦 白



受けられましたが、それよりも何よりも表情の本気さから演技に打ち込む心意気が伝わってきました。本当に技術や演技力がアップするのはこれから本番までの数日です。それは演じている当人たちが本気になるからです。いよいよここからが正念場になります。

私も細かいところまでは知りませんがどうやらここまで来るには穏やかな道のりばかりではなかったようです。

「本当にこのままでいいの？」という先生からの問いかけがあったり、6年生全員が集まって昨年度の演技の様子を見返して話し合いをしたりもしたそうです。そういういきさつがあって今日の目の前の子どもたちの真剣さがあるわけです。

私はこういう練習の過程がとても大切だと思っています。そういったいきさつも含めて子どもたちにとっては「演技」なのです。そこには先生方の心の葛藤もあるはずですが。「何とかしたい」という先生方の思いと「私たちの見せ場にしたい」という子どもたちの思いとが1つになって当日の演技ができあがります。「ストーリー」のある演技と言ってもよいと思います。

「やり切った！！」という子どもの達成感とともに当日の演技が終わることを心より願っています。

心を動かしながら練習に打ち込んでいるのは5・6年生ばかりではありません。どの学年の子どもたちもグラウンドや体育館で一生懸命に練習しています。お一人の先生にお聞きしました。「先生、初めてクラスの子たちと運動会ですけどどうですか？」「ドキドキです。振付の見本を間違えたらどうしようと思って緊張しています」とお話ししてくれました。笑顔の中に緊張感がある表情でした。子どもたちも先生方もドキドキの運動会です。

保護者の皆様、どうぞ当日は子どもたちの頑張りに声援を送ってあげてください。お待ちしております。

今こうしてお便りを作っている時間がちょうど子どもたちの下校の少し過ぎた時間です。昇降口の前あたりから応援の声が聞こえてきます。どうやら子どもたちが自分のチームの応援を友だちと声を合わせてやっているようです。別に応援練習の時間ではありません。自分たちで調子を取ってやっているのです。運動会の雰囲気が学校の中に漂い始めています。当日、心も体も運動会を思いっきり楽しんで欲しいです。

今心配しているのは天候です。週末の天気は良くありません



ん。昨年度は天候が回復することがわかっていましたので時間を遅らせてでも当日行いました。今年は前日に雨が降りそうです。当日も午後から雨模様です。もし当日の朝グラウンドがぬかっていたら予定通りにできるか心配です。場合によっては日曜日に延期することになるかもしれませんが、弱気は禁物です。「校長先生あと運動会まで幾日かな？」と目をキラキラさせながら問いかけてくれる子どもたちの気持ちを何より大事にしたいと思います。「土曜日に予定通りできる!!」と信じています。子どもたちの思いが叶えられるように祈っています。

～学校運営委員会が行われました～

楽しい学校作りに取り組んでまいります

23日の金曜日に学校運営委員会が行われました。13名の委員の皆様にご来校いただき授業参観を通して子どもたちの姿を見ていただきました。その後で集会室にて校長から学校運営方針をお話ししました。私の学校運営方針「楽しい学校」と子どもたちの姿が結びついているか。今年の運営方針が子どもの姿から乖離していないか。そういう点で審議をしていただきました。ご意見としていただいたものを取り入れて今年の学校運営方針を明確にするのがこの運営委員会の目的です。そこでお出しいただいたご意見を掲載します。

- ・校長が目指している「楽しい学校」になってきているように思う。昔は授業が静かだったけれど、今日は教室へ入っていくと「こんにちは！」と言ってくれた。こちらも思わず嬉しくなった。
- ・掲示物が各クラスそれぞれに独特で工夫があつていいなと思うものが多かった。表現がすごく上手で習字などは一という字を中心にしてあつたりして表現の方法も工夫されていた。
- ・授業の開始がざわざわしていたが先生が入ってくると子どもたちが道をあけて、ちゃんとわかっているんだなと思った。テストをしていたが、できた子は早々と提出していたが、まだ終わらない子はゆっくりと時間が確保されていて最後まで頑張っていた。ああいう配慮がよいなと感じた。
- ・タブレットを使った授業は昔は一切なかったからどういう感じなのかと思って見ていたが、違ったことに利用している子もないようでちゃんと使っていた。
- ・色々な支援の先生方が個別に対応していて、社会福祉的な面から見ても今の学校はしっかりしているなと感じている。
- ・参観日にも来るのだけれど参観日とは少し違って素の子どもたちの様子が見られてとてもよかった。今日の姿からも子どもたちが学校を楽しんでいる様子がうかがえた。
- ・この頃登下校の子どもたちの挨拶が元気になってきているように思う。
- ・35年ぶりに学校へ入ったが、風通しの良い学校だと感じた。授業が堅苦しくなく先生方が子どもたちの話を一つ一つ取り上げていてすごいと感じた。
- ・沢底から大石平まで送ってきている。今年は沢底は子どもが二人増えた。来年はもう一人入学する。事故の無いようにこれからも毎朝の送りを続けて子どもたちを見守っていきたい。
- ・眠くなる5時間目だったが、子どもたちは先生方の元気さに応えるかのように頑張っていた。授業へ入ると子どもたちが挨拶をしてくれた。楽しい学校は楽しい授業から始まるのだと思う。
- ・あさひトンネルはかつて交通事故があつたことから造られたという歴史がある。その頃のPTA役員をしていた。そのころ中央道の工事が進んでおり子どもたちと工事の様子を見に行つたことも思いだされる。
- ・子どもたちが朗らかに楽しく学んでいる。学校や家庭が子どもたちにとって大切ではあるが、地域の方が雰囲気を作ってくれている。200人以上の方がボランティアに登録して下さっており、この地域には学校を支えていこうとする気風がある。引き続きこの雰囲気を大切にしていきたい。

～資源物回収をよろしくお願いします～

PTAの皆さんのご厚意で資源物（アルミ缶）回収を常時行っています。写真のように昇降口の横にドラム缶が設置されております。休日もこのままになっていますのでご都合が良ければ入れておいていただくこともできます。お願いがあります。タバコが入ったりして汚れたものがありますと回収していただけません何分よろしく願いいたします。

